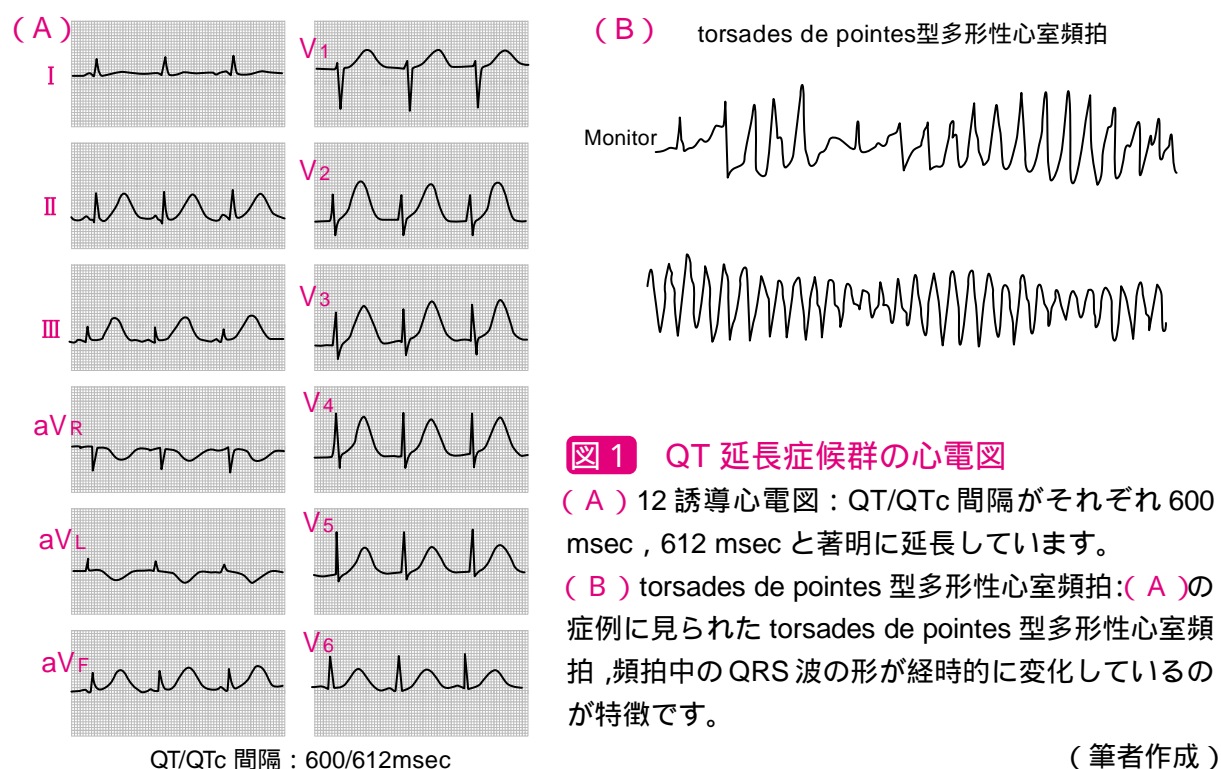


## II - ⑨ QT 延長症候群と治療のポイント

心電図上の QT 間隔は、心室の電氣的興奮が回復するまでに要する時間を示します。その回復が遅れた状態が QT 延長症候群 (LQTS) です (図 1 A)。QT 延長症候群は、torsades de pointes と呼ばれる特殊な心室頻拍 (図 1 B)、あるいは心室細動などの重症心室性不整脈を生じて、めまい、失神などの脳虚血症状や突然死をきたしうる症候群です。QT 間隔は脈拍の影響を受けるので、一般に Bazett 式 (QT 間隔 / RR [sec]) を用いて補正 QT 間隔 (QTc) として用います。QTc には性差があり、男性では 470 msec 以上、女性では 480 msec 以上であれば LQTS の可能性が高く、男性で 410 msec 以下、女性で 430 msec 以下であれば LQTS は考えにくいと思われま



### 治療のポイント

先天性と後天性の原因が考えられます。先天性では家族の中に同様の症状をもつ人が多いのが特徴です。後天性の場合は服用している薬剤によるものである可能性もあります。治療としては、先天性の場合、遮断薬が第一選択です。後天性の場合は、その原因の除去、補正が重要です。

(渡邊 一郎)